

件名	令和4年度コミュニティ交流会について
内容	<p>日 時：令和4年11月26日（土） 14時00分～16時45分 場 所：市民福祉プラザ5階 参加者：合計43名（37町内会） 対 象：259町内会 中央地域：66町内会（城西地区、武・田上地区） 谷山地域：101町内会（谷山北部地区） 伊敷地域：51町内会（全域） 吉野地域：31町内会（全域） 桜島地域：10町内会（東桜島地区） 会次第：別紙のとおり</p>
	<p>【意見交換による6グループの事例等の発表】 Aグループ（発表者：城山団地北部町内会） <u>選択テーマ：①若い世代にとって魅力ある町内会とは</u> ・広報紙をカラー化し、写真を多く使用するようにしている。 ・手書きすることで思いの伝わる広報紙づくりをしている。 ・総会の委任状に町内会活動についてのアンケートも添付し、地域住民のニーズをくみ取っている。 ・SNSの活用を検討している。</p> <p>Bグループ（発表者：明和丸岡町内会） <u>選択テーマ：②役員・班長の負担軽減策</u> ・役員に定年制度を設けている。 ・働いている人等は役員を免除する。 ・アンケートを実施し、「役員を引き受けるくらいなら脱会する」という意見を受け、一部の人間ではなくみんなでやる町内会を目指している。 ・月1回の会報をホームページに掲載することで、地域住民が職場等どこからでも好きな時に、必要な情報のみを見ることが出来る。また、写真をたくさん掲載でき、活動をより具体的に伝えることが出来る。</p> <p>Cグループ（発表者：城西一丁目町内会） <u>選択テーマ：②役員・班長の負担軽減策</u> ・班長と会長間で1対1のLINEを活用している。 ・女性役員を活用していくことが重要である。</p> <p>Dグループ（発表者：下花棚町内会） <u>選択テーマ：①若い世代にとって魅力ある町内会とは</u> ・回覧板の内容を変更することで、役員の仕事の可視化を図った。 ・年長者が若い世代に働きかける際は、上から目線にならないよう伝え方を工夫している。 ・加入しやすくするため、入会后5年間は役員を免除している。 ・役員等の負担軽減のため、会議や集金等の仕事や行事を減らした。 ・若い人による新たな企画（ハロウィン等）を実施する。</p>

E グループ（発表者：野呂迫町内会）

選択テーマ：①若い世代にとって魅力ある町内会とは・②役員・班長の負担軽減策・③町内会の情報伝達の現状・課題・対応策

①担い手不足について

- ・ 現行の制度を変えていく。
- ・ 平等にするために会長は班から出す。

②会費集金について

- ・ 集金日を事前にポスティングで周知しておくことにより、集金時の不在をなくし、集金の負担を軽減した。

③回覧板について

- ・ いらないという声が多い。
- ・ 町内会だよりを月1回まわしている。
- ・ SNSの活用に対して消極的な町内会が多かった。

F グループ（発表者：コモンヒルズはらら町内会）

選択テーマ：②役員・班長の負担軽減策

- ・ 回覧板に代わるものとして SNS や掲示板を活用する。
- ・ 会長職は負担が大きいため、副会長が補佐役として業務を分担している。
- ・ 役員同士の話し合いには LINE をメインに活用し、集まるのは年2~3回にとどめている。
- ・ 振込で集金している。
- ・ 行事はアンケートで見直しを行っている（現在：ハロウィン、クリスマス、餅つき等）。
- ・ 会費の還元を心掛けている。